



Do you like

some more

ENGLISH?



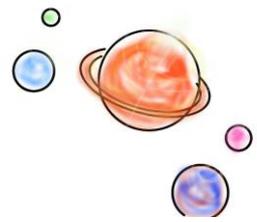
カレンダーのはなし②

## 月曜日から日曜日・・・名前の由来は？

前号では（学塾英語通信 Vol.1/2）一年の月名の話をしましたね。January から December まで、英語の月名は、古代ローマのカレンダーから採用され、それぞれの神話の神さまの名前だったり、当時のローマで使われていたラテン語の数字から由来するものでした。

では、月曜日から日曜日まで、英語の曜日名の由来はどうでしょう？

まず、そもそも一週間を7日としたのは、バビロニアのカレンダーからだそうです。そのベースとなったのは、紀元前21世紀のシュメールのカレンダーとか。



紀元前21世紀って、今から・・・4000年以上も前？



めっちゃ古いやん！

さて、そのバビロニアから、一週間7日制が古代ギリシャ、ローマで採用され、それぞれ神話の神々のなにちなんだ“5つ惑星の名” + “月” + “太陽”を7曜日名としました。

まず、5つの惑星は・・・

	火星	水星	木星	金星	土星
英語	Mars	Mercury	Jupiter	Venus	Saturn
ギリシャ	Ares(アρης)	Hermes(Ερμής)	Zeus(Ζεύς)	Aphrodite(Αφροδίτη)	Cronus(Κρόνος)
ローマ	Mars	Mercurius	Iuppiter	Venus	Saturnus
	戦闘の神	雄弁・商業の神	主神・最高神	美と愛の神	農耕の神



い〜ん・・・。土星の Saturn は、なんとなく英語 Saturday になったみたいな感じ。



それと、Sunday はお日さまの sun から、Monday の Mon がお月さまの moon からの由来みたいな感じだよね。

日曜日、月曜日はわかりやすいですね。ギリシャ語の Sun は helios、moon は melenes。ラテン語の Sun は solis、moon は luna。英語の sun は古英語 sunne、moon は mona からきています。

ということで、ギリシャ語、ラテン語、古英語いずれも日曜日は「太陽の日」月曜日は「月の日」です。



日曜日(太陽の日)  
 ギリシャ語 (h)emera heliou  
 ラテン語 dies solis  
 古英語 sunnandaeg

月曜日(月の日)  
 (h)emera selenes  
 dies lunae  
 monandaeg



これで、一応、英語の土曜日、日曜日、月曜日の由来は解決？



じゃあ、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日は？

ギリシャ、ラテン語の惑星の名前とも関連なさそうだよ。

実は、火曜日から金曜日の4日間は、ギリシャ・ローマではなく、北欧神話の神様に由来するのです。

北欧神話とは、キリスト教以前にゲルマン民族中で継承されてゲルマン神話の一種で、スカンジナビア地域で信仰されていた神話です。

	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
古英語	<i>tiwesdaeg</i>	<i>wodnesdæg</i>	<i>thursdæg</i>	<i>frigedæg</i>
北欧神話の神	テュールの日 (Tyr, Tiw)	オディンの日 (Odin, Woden,)	トールの日 (Thorr, Thor)	フリッグの日 (Frigga, Frigg)
神格	オディンの息子 戦闘の神	主神・最高神	オディンの息子 農耕神・雷神	オディンの妻 愛の神

Sunday

古英語

Monday

古英語

Tuesday

北欧神話

Wednesday

北欧神話

Thursday

北欧神話

Friday

北欧神話

Saturday

ラテン語



なんかややこしいなあ、もう。

どうして、ローマの神様とか北欧の神様とか一週間の間にごちゃごちゃ混じるのかなあ？



それと、ギリシャ語、ラテン語からきたものと古英語(ゲルマン系言語)からきたものと・・・

英語って、いろいろな言語の影響を受けているのかも？

そうです、英語という言葉の発祥地、ブリテン島は島ですよ。日本も島国です。長い歴史の間、中国から来た漢字、日本独自のひらがな、そしてカタカナ、と三つの表記文字をもつように、ブリテン島の歴史と言葉は密接な関係にあります。次回は、英語の歴史に少し触れてみたいと思います。



To be continued...